

# ティーンズ通信

## 旅～あたららしい世界へ

NO.36 2015年10月発行

川口市立図書館

旅行に出かけると、知らない人と出会ったり、日常では味わえない経験をしたり、なんだかワクワクした気持ちになりませんか？ 本を読んで、旅をした気分になれる本を紹介します♪

### 「キップをなくして」

池澤夏樹／著  
角川書店 Y913

「キップをなくしたら駅から出られないのよ」そう声をかけられた至は、その日から“駅の子”として東京駅で暮らすことになる。駅には至と同じ境遇の子どもたちが生活していた。そこでの仕事は、電車通学をする子どもの安全を見届けることだった。

### 「きっとどこかの空の下で」

三輪裕子／著  
小峰書店 Y913

フリーライターの千絵は、取材で訪れたイギリスの小さな町で、小学生のときに家の離れに住んでいたおじさんを見かけた。いつかまたおじさんに会いたいと思っていた千絵は、彼を探すため、コッツウォルズの村々を訪ね歩く旅に出る。

### 「シフト」

ジェニファー・ブラッドベリ／著  
福音館書店 Y933

夏休みに親友同士のクリストウィンは、アメリカ大陸を縦断する自転車旅行をしたが、ゴール直前ウィンは理由もなく、突然失踪をしてしまう。

アメリカ縦断の模様とウィンの失踪後の物語が交互に語られていく、友情に関して考えさせられる1冊。

### 「風をつむぐ少年」

ポール・フライシュマン／著  
あすなろ書房 Y933

ブレントは飲酒運転で事故を起こし見ず知らずの18歳の少女リーを死なせてしまう。リーの両親が、ブレントに求めた償いは、「アメリカ大陸の四隅に、リーの顔をした風の人形をたてること」だった。償いの旅を通して再生していくブレントの姿を描いたロード・ムービー。

### 「幸福トラベラー」

山本幸久／著  
ポプラ社 Y913

新聞部部长、だけどさえない“ぼく”は、上野で謎めいた少女に出会った。修学旅行で東京に来たという彼女には、何か隠している目的があるようで…。上野公園を舞台に、偶然出会った中学生の男女がくり広げる青春物語。

### 「靴を売るシンデレラ」

ジョーン・パウアー／著  
小学館 Y933

チェーン店の靴屋でアルバイトをしていた高校生の女の子ジョナは、靴を売る名人。

その働きぶりを創業者の女社長に認められたジョナは、夏の期間、社長専属のドライバーとして雇われた。靴の品質より、利益を重視している社長の後継ぎ息子と対決すべく、2人は株主総会がおこなわれるテキサスへとドライブしていく。

旅には、色んなスタイルがあります。  
自分と向き合うひとり旅、みんなでワイワイ楽しい旅、  
どんな手段を使う？  
きちんと計画する？それとも行き当たりばったり？  
自分に合った旅を探してみてください。

### 「深夜特急1～6」

沢木耕太郎／著  
新潮社 Y915

26歳の「私」は、仕事をすべ  
て投げ出して、インドのデリーか  
らイギリスのロンドンまで乗合  
いバスで旅をすることにした。  
1970年代前半、著者が1年  
以上かけ、ユーラシア大陸を放浪  
した旅をもとに書かれた紀行文。

### 「夜のピクニック」

恩田陸／著  
新潮社 Y913

80キロを全校生徒1000人が  
夜通し歩くイベント「歩行祭」。  
甲田貴子は高校生活最後の行  
事に、友達と楽しく歩きながら  
も、このイベント内で三年間で  
できなかった「ある事」を  
実行しようと、ひそかに決意  
していた。

### 「旅を楽しむ! トリビア大百科」

ナイジェル・ホームズ／著  
日経ナショナルジオグラフィック社 Y290

「水没する車から脱出する方  
法」、「ラクダの乗り方」、「ロボ  
スターの食べ方」…。  
普通の旅行書とは、ひと味違っ  
た旅の雑学が満載の本。  
気になるページから読んで、楽  
しみながら、旅のノウハウや知識  
を身につけよう。

### 「100km!」

片川優子／著  
講談社 Y913

高校1年生のみちるは、叔父が勝  
手に申し込んだ100キロを歩く大会  
に出ることになる。  
何事も中途半端な自分のことや、  
交通事故にあって元気がなくなっ  
てしまった母のこと…  
色んな思いを巡らせながら、みち  
るは他の参加者とともに長い道の  
りを歩いていく。

「十六歳のオリザの未だかつてためしのない勇気が到達した最後  
の点と、到達しえた極限とを明らかにして、上々の首尾にいたった  
世界一周自転車旅行の冒険をしるす本」

平田オリザ／著  
晩声社 Y290

現在は劇作家である著者は、16歳  
(1979年)の時に高校を休学して、  
1年半の時をかけ自転車で世界中を旅し  
ていました。この本には、道中の日記や、  
両親や友人との手紙のやりとりが収録さ  
れています。  
著者は、文系少年で、幅広い話題が取り  
上げられています。自転車好きだけでなく、  
文学・音楽・美術好きにもオススメ!

### 「走る」

羽田圭介／著  
河出書房新社 913.6

ある日、物置に眠っていた  
ロードバイクを取りだして、  
学校へ向かった僕。  
次々と目にする新しい風  
景に、気の向くまま学校を  
サボり、国道4号線を北上  
していく。  
芥川賞作家の疾走感あふ  
れる自転車小説。

### 「僕が旅に出る理由」

日本ドリームプロジェクト／編集  
いろは出版 Y290

世界を旅した大学生100人が  
つくった旅の本。旅好きの人も、  
これから旅に出たいという人も  
きっと刺激をうける1冊。